

会 議 録

1 会議名

令和7年度第2回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和8年度社会教育の方針作成について（公開）

(2) 社会教育委員による事業評価について（公開）

(3) その他（公開）

3 開催日時

令和7年8月27日（水） 午前9時30分～10時30分

4 開催場所

上越市教育プラザ3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：茨木委員、江村委員、亀山委員、小玉委員、北澤委員、佐野委員、
高橋委員、名川委員、松井委員、村本委員、山川委員、山崎委員、
渡邊委員

・事務局：福山社会教育課長、宮崎参事、加藤参事、長谷川中央公民館長、
北澤係長、町田係長、池田係長、山田副主幹、増田主任、岩片主任

8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

(2) 渡邊委員長挨拶

(3) 議事

① 令和 8 年度社会教育の方針作成について（質疑なし）

— 資料No.1 に基づき事務局説明 —

② 社会教育委員による事業評価について

— 資料No.2 に基づき事務局説明 —

【高橋委員】

いくつかの公民館が合同で講座を実施するなど各地区公民館が連携して事業を実施する場合もあると公民館主事から聞いた。合同で実施することで、地区単独で実施するより多くの集客が見込めたり、予算を削減できたりとよい取り組みだと思う。各地区の公民館主事の研修会や情報交換会は、どの程度の頻度で開催しているのか。

【事務局】

公民館主事を対象とした研修会は、年 2 回開催している。前半は、公民館の施設管理や運営に係る内容の研修を実施しており、講師によりお話などをしていただいている。後半は、参加者同士がグループに分かれ、公民館事業についてそれぞれの現状や課題などについて意見交換をしたりしている。高橋委員がおっしゃる通り、人口が減少している状況の中では、各地区単独での集客が困難な場合もあるので、公民館同士で連携しながら合同で実施するなど、いろいろな組み合わせで講座を実施している。

また、各講座終了後に事業の成果や反省点等を課内でも共有し、次回に向けた検討を行いながら事業を進めている。

③その他

■今後の会議等の日程について（質疑なし）

— 資料No.3 に基づき事務局説明 —

■上越市二十五歳の成人式の開催結果について（報告）

— 資料No.4 に基づき事務局説明 —

【松井委員】

私が勤務している職場のスタッフも対象者であった。式典には都合がつかず、参加することができなかったが、その後の対象者同士の懇親会は非常に盛り上がり楽しかったと言っていた。一つの節目として実施できたことは非常によかったと思う。

【事務局】

いろいろなメディアから取材を受けたが、コメントをしてくれた参加者からは感謝の言葉が多くあった。参加できる方から来ていただき、当日の参加人数だけでは推察することができないほど感謝の気持ちを伝えてもらえた充実した事業であった。

また、二十歳と二十五歳の若者では、発言や行動面を見ても、二十五歳はより大人だと感じた。子どもを連れて参加した方もおり、皆さんの5年間には、いろいろなことがあり、参加者同士が、この5年間のことを会場で話すことができたことはよかった。松井委員の話にもあったが、式典後に同窓会や部活単位での飲み会などが多く開催されたようで、みんなで集まる機会を提供するころができ、大成功だったと思っている。

■第54回上越市美術展覧会表彰式・開場式への出席について（質疑なし）

— 事務局説明 —

■第75回新潟県公民館大会への参加について（質疑なし）

— 事務局説明 —

■上社連総会・研修会・情報交換会について、県社会教育委員等研修会について（質疑なし）

— 渡邊委員長説明 —

(4) その他

【山川委員】

私が勤務している上越地区手をつなぐ育成会では、障害のある方たちの親子活動として余暇活動も行っている。その余暇活動も障害者の生涯学習につながるということで11月14日に県の研修会で事例発表をすることになった。大学の先生も関与しており、このような余暇活動も障害のある方たちの社会教育として取り扱われている現状を報告させていただく。

【江村委員】

先の事業評価の中で、頸城地区公民館南川分館で外国人と地元住民との交流会を実施したと報告があったが、頸城区には外国の方が多く、家庭での親子の関わり方が大事ということで、私が所属している「CAP じょうえつ」でも、民生委員を対象に子どもへの暴力防止プログラムのワークショップを実施することになっている。

また、春にチラシを配布したが、新発田市の教育長さんをお迎えし、CAP（さまざまな暴力から子ども自身が自分を守るための人権意識を育てる教育プログラム）が有効であり、CAPのプログラムを全市で実施しているという話をさせていただいた。高橋委員にも参加いただき、良い感想や質問もさせていただいた。子どもへの暴力防止プログラムはなくなれば良いと思うが、やはり大切だとも感じたので報告させていただく。

【事務局】

上越科学館では、新しい展示物を年末までに公開できるよう準備を進めている。内容としては、昨年度企業版ふるさと納税で4,000万円の寄附を受け、企業側からは子どもたちの学びが充実するものに活用してほしいということで化学が学べる展示物を制作している。完成した際には、ぜひご覧いただきたい。

(5) 閉会

9 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課

TEL : 025-545-9245 (内線 2741)

E-mail : shakaikyouiku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。